

健康に関する課題がたくさんあるので克服していきます。

健康という面において、現在の平内町をどのようにご覧になりますか？

平内町は非常に寿命が短いです。全国では、男性が下から37位、女性が下から30位です。非常に問題があります。また、脳卒中に罹る人が多く、健診の受診率は極めて低いです。お子さん達に肥満が多いことも判つております。そこで「メディアトリム事業」と「早期生涯習慣病健診事業」、そして「漁師の健康を考える会」が現在進行中です。がん検診、特定健診の無料化も行つております。

メディアトリム事業の内容について、ご説明願います。

メディアトリムとは「メディカル（医療）」「トリム（整える）」という意味の造語で、医師の管理下で専門家による運動・食事指導、生活習慣病の予防・改善、薬の減量

などの健康な体づくりを目的とする活動です。青森県立中央病院の小野正人先生が中心となり各地で集団指導を行つています。

町民の健康状態を調査したところ、酒・タバコ、内臓脂肪・ホルモンの影響によって、血压やコレステロールが高くなっています。糖尿病にも多くの影響があり、内臓脂肪を減らす目的で県のメディアトリムモデル事業に応募し、平成22年度から役場の職員を対象に開始しました。翌年からは住民を対象として行つています。そして平成25年度からは県病の先生にご協力いただき、平内中央病院にて週1回の「メディア外来」を開設しました。運動指導や栄養指導を行う「メディア教室」も実施し、少しずつではありますが町民の意識が変化してきています。

町としてはメディアトリムだけではなく、生活習慣を変えることは難しい

と感じており、もっと若い世代に向けて、早い時期から健康に対する取り組みを始めたいと考えています。

子ども達の肥満が問題になつてゐるようですね。

全国や県平均と比べて、肥満の児童の割合が高いです。小学5・6年生を対象に血液検査・血压測定・骨密度測定等を実施しておきました。児童の親御さんにも健康意識を変えて欲しいという思いがあります。特に、授業参観日には個別に結果の説明を行つており、異常がある場合には早期受診を勧めていくこともあります。

「メディア外来」も実施し、少しずつではありますが町民の意識が変化してきています。

町としてはメディアトリムだけではなく、生活習慣を変えることは難しい

漁業者は業務形態から自分の健康を確認する機会が得られにくい状況にあります。そこで平成25年に、漁業4地区において健康に関する実態を把握するためのアンケート調査を実施しております。アンケートの結果によると、菓子パンや加糖コーヒーの消費が多く、健診を受けないなど、ホタテ養殖業を担う漁業者の将来が危うい内容でした。それで平成26年度に「漁師の健康を考える会」を立ち上げ、県など各機関からご協力を得て2地区をモデル地区に指定し、健康づくりの仕組みを作り始めました。現在、健診日は沖止め(休漁)にして漁業者の受診増加に繋げています。モデル地区では勉強会も盛んに開かれようになっており、減塩や野菜摂取の重要性について認識を深めています。

最後に、町長が目指す町というのは、どんな町でしようか？

ためにメニューの試食を行つたり、意見交換を行つています。今後、他の地区まで広げていきたいです。

平内町のホタテを使用した「平内ホタテ活御膳」の開発経緯についてお聞かせください。

平内町は県内で1番のホタテの産地だと知られていますが、今までホタテ料理を食べるところが町内に1軒もないことに気づきました。ホタテ料理を平内町内で食べて、ホタテがすぐくと育つ。だから、美味しいホタテができるのだ。単一漁協協同組合の漁獲高としては、平内町が全国トップを誇っている。



●

平内町長



● 船橋 茂久 ●

1949年生、現在67歳。
2011年平内町長選挙に初当選。現在2期目。

「こんなに安くホタテを食べられるのか」と大変ご好評をいただいておりますが、地元の人はわざわざお店でホタテを食べなくともという考え方の方も多いので、もつとメニューを工夫して、ホタテのフライやホタテのかき揚げなど手頃なメニュー

も今後新しく増やしていきたいと思います。

ついでに私は、ホタテを生ではあまり食べないのでですが、焼いたホタテは好きでして、多いときは一人で20個も30個も食べててしまうので、大変ヒンシユクをかつていています(笑)

ためにメニューの試食を行つたり、意見交換を行つています。今後、他の地区まで広げていきたいです。

平内町のホタテを使用した「平内ホタテ活御膳」の開発経緯についてお聞かせください。

平内町は県内で1番のホタテの産地だと知られていますが、今までホタテ料理を食べるところが町内に1軒もないことに気づきました。ホタテ料理を平内町内で食べて、ホタテがすぐくと育つ。だから、美味しいホタテができるのだ。単一漁協協同組合の漁獲高としては、平内町が全国トップを誇っている。

経済効果は約9千万円くらいですので、大変効果はあつたと思っております。現在5軒のお店で提供していますので、ぜひ召し上がってみてくださいね。

県外からいらっしゃった方からは「こんなに安くホタテを食べられるのか」と大変ご好評をいただいておりますが、地元の人はわざわざお店でホタテを食べなくともという考え方の方も多いので、もつとメニューを工夫して、ホタテのフライやホタ

最後に、町長が目指す町というのは、どんな町でしようか？

やはり町民が健康で、明るく、そして外に開かれた町をつくついていきたいなと思っています。

最近はお子さん的人口が非常に少ないので、そのための施策をいろいろと検討中です。平成28年度からは第2子から保育料を無料にする予定です。若いご夫婦がアパートを借り入れる際に家賃補助をしたり、戸建てを建てる時は助成をしていくことと考えております。



「漁師の健康を考える会」グループワークの様子

平内町長
船橋 茂久

漁業者の健康を考える会の取組みについても、お聞かせください。

漁業者は業務形態から自分の健康を確認する機会が得られにくい状況にあります。そこで平成25年に、漁業4地区において健康に関する実態を把握するためのアンケート調査を実施しております。アンケートの結果によると、菓子パンや加糖コーヒーの消費が多く、健診を受けないなど、ホタテ養殖業を担う漁業者の将来が危うい内容でした。それで平成26年度に「漁師の健康を考える会」を立ち上げ、県など各機関からご協力を得て2地区をモデル地区に指定し、健康づくりの仕組みを作り始めました。現在、健診日は沖止め(休漁)にして漁業者の受診増加に繋げています。モデル地区では勉強会も盛んに開かれようになっており、減塩や野菜摂取の重要性について認識を深めています。